

第2回 藤原館長が選ぶ スマホで万葉集

万葉集に残されたさまざまな情景を
君の感性で切り取って見せてください

2026年1月7日(水) 締め切り

秀作20名にQUOカード5000円分プレゼント！

■ 参加方法 ■

応募資格 原則18歳以下

君なりの万葉集の情景を撮影したら
高岡市万葉歴史館公式の

Instagram(@manreki) もしくは X(@manreki) をフォローして



#スマホで万葉集2025 と 歌番号 を付けて投稿！！

メールでも応募できるよ

manreki2@p1.tcnet.ne.jp

詳細・お問い合わせは
高岡市万葉歴史館HPを見てね





迷ったら、この一首から！ インスピレーションで あなたの一枚を投稿してね！

● 本当にかけがいのないことって何？

銀も 金も玉も なにせむに 優れる宝 子に及かめやも (巻五・ハ〇三 山上憶良)

● 美しさのむこうのなにかに気づく

立山に 降り置ける雪を 常夏に 見れども飽かず 神からならし (巻十七・四〇〇一 大伴家持)

● この桜の花を、遠くにいる友人に見せてやりたい、一緒に見たい

我が背子が 古き垣内の 桜花 いまだ含めり 一目見に来ね (巻十八・四〇七七 大伴家持)

● 子が親との別離をおもう。子どもからの視線

父母が 頭掻き撫で 幸くあれと言ひし 言葉ぜ忘れかねつる (巻二十・四三四六 防人丈部稻麻呂)

● 気の合う者同士であそびにでかける喜び

馬並めていざ打ち行かな 渋谿の清き磯廻に寄する波見に (巻十七・三九五四 大伴家持)